

商業 近來鐵道工事の爲め

初めての江景(上)

最新最良の模範的家庭

吾が家庭樂は、現時世界に存在せる有らゆる「家庭」の處方を集めて、種種重々細密に參考し、獨てベルリン醫科大學及び我が國帝國醫院大專諸教授を始め、世界の有名な大家、六十三名博士の學說を根據として研究創對せられたる最新最良の理想的な家庭佛樂である。

病つ痛の烈しい時　便通のない時　胸の意い時　肺癆の起つた時　腹中に蟲の寄生した時　寒氣を引いた時　頭痛、眩暈の時　熱病に罹つた時
喉や手足膨張する命、呼吸困難する命、胃腸不調する命、腎臓衰弱する命、
家庭佛樂

病に罹つた時、傳染病の流行時などに、完全なる家庭薬の有るに無いと
 は、實に一家安危の岐るゝ處です。
 疾病の治療は初期に限るので、初期の治療を怠るが爲に、輕症なる氣喘
 咳嗽兒の程度に於て治癒し得る感冒をも、肺炎にまで進ませて、甚
 だしい狂狽へる例は往々あります。初期の手當の一と藥匙は末期の治療の百
 倍に勝るものと云ふべきであらう。
 作用の確實なる効力の一不減なる、最も輕し得る吾等家庭
 薬を常に備へ置かれ、急に應じ得る爲に御中意なり。

藥價は如何なる家近にも販べからざる、壹圓七拾錢の
内用藥方種、外用藥三種都合八種一組
を以て證をの御要 本月十六日 京城 下さい。
京城南大門外停車場通

ドラッグ商會家庭藥部

要電話二五六七番。總店東京四六七番

會席御料理
暑中御伺
忠州錦町
末廣館
六十疊敷宴會場力設備あり

香品香水

一定價
一匁入十五錢
三匁入四十五錢
各物に當り
にあり

代理店 京城南門外通二丁目 新井藥房

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候株式會社長崎貯蓄銀行代理店

株式會社 十八銀行 京城支店

合社 振替貯金口座至京城八一四番
京銀貯金町電話四二〇番五八〇番

龍山出張所

諸預金貸付爲替銀行
ニ取扱可申候

龍山元町三丁目 電話一八番
般ノ業務ハ精々御便利

福岡縣三井郡山川村
釀造元

富安 本店

酒
 商標
 東京永樂町二十丁目
 井賣元
 富安
 京城支店
 電話一〇三九番
 口座四三九番

京
城
日
報

三十三日朝刊
(タ刊と合せ八頁)

[illegible]

假名として今日残つ
最も古いのは貫之の
の重なるもの可なり
葉集、寸松庵色紙、
五等の外各種の切が
つは貫之として人の
貫之の空海と結び付

てゐるものゝ内、
 音韻である。其
 多く、彼の桂萬
 古今和歌集卷之
 あるが先此四
 疑はぬ所である
 ける約百年の間
 集

假名の研究を積むたゞに、
 一般に時流が假名の
 動向をなかつた結果、
 貴之の假名は比較的に
 古からうな。貴之の
 中に書かれたものを

八に堪はず慶九年であ
 るのである 四年に世を
 其の時代にの歿年を以
 せてあること八十
 二の歳に歸自の家に
 を見るに實の威力を備

この没したのは朱武帝の
つて佐理は一條帝の
去り、行成は後一條
歿つたのであるから
ていへば行成は貫之
年である。并して行
生れ富貴にして且つ
へてある。其年代に

の天
長徳
帝の
其の
を去
成は
各種
於て
成は
本は
大け、
その
繁害

成は又た忍耐力
と殿中に宜つた
つてゐる。此天
五十六年の事
人であるから其
すは決して偶然
本の書道界を其
大け、その繁害

の強い人で藤原實方
諸柄は今日まで傳は
る。忍耐力をもつ
て、書を習字に専らした
る。追界に重きを置
かない。然し乍ら日
の双肩に擔つてゐる
も亦之れを行成に歸

南米の富海

八千萬しむな
造つて東洋
するこころし
て行くこころ
南米は天産物
西爾の如きは

日本書道論

假名書道界の二聖貫之行成

假名遣の時期に就いては古来種々の假名遣したものであつて、正しく今迄の本書があつて、其の初期に關する假名の祖元である。萬葉假名の説は未だ定つて居ないのである。要衆の體から見ると古語體であるが、吉備其體及び空海が作つたものである。是文字の使用方に非常な苦心を盡して居る終りの方は單に字音のみであるこの俗説は或る意味に於て其

明治天皇祭

本日(この日)は明治天皇祭なり。歲月(としふと)海(うみ)に流るゝが如く、大帝御登遐(みよとせ)以來、既に本日を以て滿四年を閱しぬ。



程の研究を積んで唐・韓の諸作の人であつた爲め、門
下から其の名聲きこえて都ひに都ひで自分の家を建てる様な事も
て上らなかつたのは、せす、或は主君の失策で、國戚に耽
溺し、不忠誠といはねばならぬ、或は府中に在つても左して
ゐる、同時に此の空寂な名なる地位に置かれて遂に其
模範たる假名の歴の足跡を歩むのとなつたのである
申中に突如として此うと思はれる、愚考は其の深い蘊
の餘仁を失はして、諸の厚い研究と、其の假名遣
るといふ事は殆ど大木を思ひ出した、其の書は實に雄
々常識を以つて想、跡にして世に處があり、また一種

明治天皇尊影と御製

外なる世界に達した人間である。行
 成は元來書に耽しては非常な天才で
 あり、當時の人も行成を以て「書家」
 と認め、自分も亦たれを請ひてゐた。
 其の書を見るに行成が如何に天才で
 有つて當座であるか、温厚であり、如
 何に當代のハベイカウであつたかとい
 ふ事も想像するに餘りがある。行成
 の書は今日残つてゐるもの頗る多く、
 和漢體詩歌をはじめその餘るの力
 面に、其の字の方面にも、更に觀する
 行成並に世譽を流し、宗められた
 延いて御家を成すといふ風で、和
 漢の片から見れば其の始創たる地位
 に近からず、行成並に一手で以て引き
 上げた觀がある。這是生を藍藍氏に
 存して行き、其の眞の妙味を失はな
 く、研究してこそ始めて實際の「書」
 道の奥を窺ふことが出来る。來る
 こと愈信じて疑はぬものがある。然
 るに世人は「書」道に於ては行成に
 對して貴之に薄く、此の二人の先
 輩の蹟を究め、尤も此の二人の先
 輩は地位に安んじてゐた、又た今
 日でも「書」道界に貴族として來た大分は
 多きはあるが、今日吾々が「書」道の
 流弊を思ふに、天竺、瀾洲の地には
 之を「書」道と稱するもの、少く
 とも兩者を同一地盤に居て見なく
 てはならぬと思ふ。自分は假名の起
 源に就いて、漢字たる「ア」ツ「イ」ンを
 示し、延いて假名界の二聖賢之、行
 成と藍藍氏を尊ぶ。

藍藍氏對しては口米に就つて、輸入した貨
 物、藍藍氏は第五、六、七、八、九、十、の
 手に入れた、第一に居る。何れも、
 要するに第一に居るであつて、其の蓄積
 したる相當なる資本を投じて、今まで
 の英吉利や荷屬に代りて、支那、日本、
 のモンロー主義を貫つて、中央亞米利
 加や南亞米利加の實地を把握せんと
 するの目的の爲である。
 する、車に上つては、大抵資本よりも
 品物を持て來て、あらうと、想像され
 る。如何に、藍藍氏の力が少くないと、
 人も、口米の支那や三極の印度に、向
 つて之を賣込むなら、大したもので
 あらうが、藍藍氏の點に於ては餘程
 注意して居るわけならぬと思ふ。

歐洲戰と北米合衆國

日本將來の經濟的關係
經濟研究會に於ける 勝田鮮銀總裁講演
五、日米經濟關係
▽支那と中南米而して世界經濟界發展の陸地を地理的に言へば第一に露西亞、次に支那、次に中南米であるが、其の地

に危険であるから、之を打破した
には殆んど地域がない。他人
には中々手を著けることが出

此の間に起つて居るか、政體なり
 各人なりの頭が段々さうなつて来
 て、モントローペがインペリアス
 に近づきつゝあることは先づ我々
 の注意すべき點である。そこで我
 が合衆國の遺方を有斷するに此
 露西亞には其の面土を支配する強
 力があるから無暗に手出しは出来な
 いのである。支那は極力が強い
 から、附けることが出来る。南亞
 米利加や中央亞米利加には多數の國
 があるが、人間も少なく、國として
 の力も弱いのであるから、之には入
 になりはせまいと思はれる。

▼支那の米、農資金 我々は
 深く此の大窮の趨へるを察へて、之
 に對する用意をしなければならぬ
 而して茲に直接起るる問題は支那
 に對する資金問題である。今申した
 大勢からいへば、農資金が支那に何

の真相を傳へたものだといふことを得てであらう。然るに其の以前に於て既に萬葉集名といふものが存在して居たのは確かたる事實である。蓋し假名とは眞に字音と字訓とを以て無めて不完全ながら當時の習を其の斯様な問題は後日に譲るとして、却て假名には今日吾々が謂ふ處の「音讀」名と片假名との二つがある。兩者は是に所由よりから分れておられし發音の異なるものであつて、片假名は文字の一部分を取つて置たる如く或る音字の一部を取つて置たる音字としたに過ぎず、常體則ちい

名も事草薙か履した事は前に述べたが、成る程初めの内は除害草薙に近く、病草薙かと思しきものも無いではない。然しこれが日本に發生して其の目的も草薙と違ひ、且つ當時に於て草薙を認めるよりも、層遠く善かればならぬ必要もあつたので、病的のものであつて病草薙を或る形に引き直した様なものであるが、其れが百年を越へぬ八十年計り後の紀實之に依つて美事上の成された事は、何といつても不忠誠の取象と謂はざるを得ぬ。左に患者草薙の二篇たるを掲げて、自らが假名

女吹着である。彼れは元
 であつて古今和歌集の序の
 其の序に「是も古語の深
 遠かに時流靡弊を援いて
 起り」當時は天下流行して
 越へる流行の研光に赴し
 股名書道は單に婦女女子の
 上に於ては多少の興味があることと

點とするに歸せぬ者である。
 財之の後は小野の道風あり、藤原
 理あり、其の他源順とか藤原公任
 とか色々の人が出たのであるが、
 然し餘りの大家たる藤原の行成や實
 照して論じることば股名を研究する

の頭を以てしなければ亞米利加は何
 を爲て居るのか判らぬと云ふことに
 なると思ふ。さて先きに御話した如
 く、今日北米合衆國は經濟上最も有
 名な地位に在り、夫れに加ふるに只今
 申した如き改良されたるモンロー主
 義を執つて進んで居る。

つて行ける。併し支那に入るの
 中米や南米に入るのとは入り方が
 違ふであらう。南米や中米には無
 数の資本が無輸入であるが、支那
 の資本は多く輸入である。支那に
 は資本も入る。だから多くは品物が
 入るであらうと思ふ。支那の人口は
 幾通なとが起つて來るかも知れない

つて金を貸す必要は、之を南米に對
 する必要に比べる程度がどういふ
 低いかと申さなければならぬ。併し
 支那は今其政治は世界の集中
 點であるか、或は政治上から合衆

● 嗟 艦艇急行下命

廣東城在留邦人保護の爲め

廣東城に在る留邦人保護の爲め、同方面の通信機關は全部破壊されたる爲め、消息の不明なるも、二十六日の通信に據れば、留邦人の一部は、既に廣東城に侵入し、支那軍の攻撃を蒙り、死傷甚多と云ふ。廣東城に侵入し、市街戦を免れざる形勢にて、廣東駐在英國領事は此の際日本に於て相當の措置を執られしと要求し、我が國政府は留邦人保護の爲め、敢て軍事行動を遂行することに決し、形勢中の艦艇を戦に向け廣東に急行を電命した(東京電)

● 帝政派の活動

● 吳俊陞負傷す

● 寺内伯歸京

● 米墨紛争解決時機

● 重石許可主義

● 明治天皇祭御儀

● 米國取引禁止抗議

● 塞國軍の活動開始

● 獨艦汽船を欺き撃つ

● 捕虜多大

● 文武官叙勳

● 苦しさに費消

● 三線連絡問題

● 米戰一段落

● 師團長檢閲

● 英軍奮進銃砲捕獲

● 斬壕占領と地點奪還

● 實費診療開始

● 朝鮮實費診療病院

● 朝鮮銀行

● 活版石版凸版寫眞版鑄造

● 各種帳簿類及書籍類製本

● 活字販賣紙型及鉛版印刷

● 營業所

● 工場

正四位上 平山 勇 信
工部博士 廣井
工部博士 廣井
工部博士 廣井

● 松方侯歸東

● 寺内伯歸京

● 平田子歸京

● 内相山公訪問

● 重石許可主義

● 秋山少將視察

● 果樹は豊産

● 迎日水利工事

● 慶北農作被害調査

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 朝鮮紅參米國

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 父復新人籍

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

● 迎日水利工事

重、元、の、特、も、閉、め、の、時、に、工、合、

[illegible][illegible]

より而作
玄袋法
接物割
副四割
云一時定十物
一袋間八
上物前月
互八作日
寺八法開
玄時時備
より聞作
十前一法

諸君 自愛せよ
健康と元氣を保つに
總ての要素を具備せる
煙草代用
三ツ星
シンシヤニル

森永
三ルクキヤメル

は完全無比の

二七五の


常用品なり

下痢は多く、不消化と細菌作用より起る、故に下痢止効

下痢にヘルプ

注意せよ
森永製菓株式会社

止嗣下



旅行にヘルプ

●消化と緩衝力の絶大なるヘルプを用ゆるが最も安全

▲旅行にヘルプ携帯を ▲船中下痢起る ▲汽車中腹痛

▲旅行に食糧不足時 ▲途中醫務が無く ▲安心と手當出来

美味ヲ以テ好評アル

林檎と梨

朝鮮島致院

弘益殖産株式會社農場

振替京城一〇番

湯上りに日本一の衛生御うち粉

赤ウチウ

定價

四	六	七	十一	十三	十五
匁	匁	匁	匁	匁	匁

東京 徳田 振替 五十四

して氣持よき皆様の必要品
 ・全國到處に取次店あり
 野上 助多 春六
 外各機

「さい価格は請々勉強致します」

堂

九九八二六八九

七二七八四四六四〇七一
〇〇五〇一五〇〇〇五〇〇

帆船

郎帆帆帆帆

部	出	出	航	出
			船	港

帆船帆船帆船帆船告部

部帆十 帆 帆